

御挨拶

国土交通省北海道局長
高橋 季承

北海道倶楽部及び御会員の皆様におかれましては、北海道開発行政の推進に御理解・御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、北海道局におきましては、平成28年3月に閣議決定された第8期目となる「北海道総合開発計画」に基づき、北海道の強みである「食」と「観光」を担う「生産空間」の維持・発展を図るため、「人が輝く地域社会」、「世界に目を向けた産業」、「強靱で持続可能な国土」という3つの目標を掲げて施策を推進しているところです。

近年の我が国を取り巻く状況を見ますと、新型コロナウイルス感染症が社会経済活動のあり方や人々の行動・意識・価値観に及ぼした影響は大きく、働き方の見直しや地方移住に対する意識の高まり等を背景に、分散型の国土づくりにおいて北海道が果たす役割は大きいと考えております。

また、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、北海道の豊かな自然や地域資源を活かし、再生可能エネルギーの導入等の温室効果ガス排出削減対策や吸収源対策に取り組み、経済と環境の好循環と持続可能な地域社会の構築を図る必要があります。

これらの状況を踏まえ、ゼロカーボン北海道、食と観光、北方領土隣接地域の安定振興といった重要課題にしっかりと取り組んで参りますので、皆様の御理解・御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

また、アイヌ文化の復興・創造等の拠点であるウポポイ（民族共生象徴空間）には、昨年7月12日の開業以来、本年8月1日までに約28万人の方々に御来場いただきました。今後も、多くの方々にウポポイを訪れ、アイヌ文化の素晴らしさを体験し、民族共生の理念に共感していただけるよう、広報活動やコンテンツの充実等に取り組んでまいります。皆様におかれましては、引き続きウポポイへの誘客促進について、御協力をお願いいたします。

最後になりましたが、北海道倶楽部のますますの御発展と皆様の御健勝を祈念しまして、挨拶とさせていただきます。